



J·M·クッツェー

田尻芳樹訳

統·世界文学論集

ゲーテ
クライスト
ホイットマン
ホーソーン
ヴィットボーイ
ズヴェーヴォ
フォード
ヴァルザー

みすず書房

2022.6.22.(7k)

 $16:30 \sim 18:00$

近代文学の終わりと J. M. クッツェー

田尻芳樹講演会

東京大学大学院総合文化研究科教授。専攻はイギリス文学。著書に『ベケットとその仲間たち――クッツェーから埴谷雄高まで』(論創社、2009)、編著に『J・M・クッツェーの世界』(英宝社、2006)、共編著に『混沌と抗戦――三島由紀夫と日本、そして世界』(水声社、2016)、『カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』を読む』(水声社、2018)など、訳書にG・C・スピヴァク『デリダ論』(平凡社ライブラリー、2005)、J・M・クッツェー『世界文学論集』(みすず書房、2015)『続・世界文学論集』(みすず書房、2019)などがある。

立命館大学衣笠キャンパス平井嘉一郎記念図書館・1F・カンファレンスルーム

対面開催・参加無料・申込不要

問合先・文学部・吉田恭子 kyoko@fc.ritsumei.ac.jp

主催・立命館大学国際言語文化研究所